

# やまぎん アジアニュース

経済月報  
No. 480 掲載分  
平成 27 年 4 月

●釜山支店☎010-82-51-462-3281 ●青島支店☎010-86-532-85766222 ●大連支店☎010-86-411-83705288  
●香港駐在員事務所☎010-852-2521-7194



【釜山支店】

## 「韓国から日本への観光旅行について」

2000年には年間511万人に過ぎなかった韓国人の海外出国者数は、2005年には年間1,000万人を超え、更にその後も増加し続け、2014年には1,600万人を超えました。

日本への訪問者数も一時期の落ち込みはありましたが、現在も順調な伸びを見せています。最近では日本国内でインバウンド観光（訪日外国人旅行）に注目が集まっていますので、今回は日本へ行く韓国人の人々の観光旅行について取り上げたいと思います。

### 1. 統計

韓国の統計庁および日本政府観光局による韓国人（韓国外に居住する韓国人を含む）の年間海外出国者数、日本への訪問者数は次の通りとなっています。特に日本への訪問者数について、2011年には東日本大震災の影響から大きく落ち込みましたが、その後回復を続け、2014年は2,755千人を記録しました。

(単位：千人)

行き先	2000年	2005年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	(比率)
日本	1,268	1,747	2,440	1,658	2,043	2,456	2,755	17.1%
うち観光	402	1,216	1,963	1,199	1,569	1,974	データ 無し	—
うち商用	338	387	335	307	332	334		—
その他	528	144	142	152	142	148		—
その他	3,847	8,341	10,048	11,036	11,694	12,390	13,326	82.9%
総出国者数	5,115	10,080	12,488	12,694	13,737	14,846	16,081	100.0%

※ 出典「日本政府観光局(JNTO)」、「韓国統計庁」

交通手段		2000年	2005年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	(比率)
飛行機	仁川(ソウル)	データ 無し	7,848	9,395	9,542	10,200	11,034	12,164	75.6%
	金海(釜山)		762	1,148	1,263	1,496	1,714	1,861	11.6%
	その他		485	847	937	1,035	1,096	1,184	7.4%
小計			9,095	11,390	11,742	12,731	13,844	15,209	—
船舶	釜山港		394	533	346	516	549	485	3.0%
	その他		591	565	606	490	453	387	2.4%
小計		985	1,098	952	1,006	1,002	872	—	
総出国者数		5,115	10,080	12,488	12,694	13,737	14,846	16,081	100.0%

※「韓国統計庁」

また、2014年に釜山港から出国（ほとんどが日本向け）した韓国人の総数はセウォル号事故の影響から前年同期比11.7%減少していますが、過去5年平均は486千人となっています。一方で、飛行機の利用者は増加傾向を維持しています。

## 2. 背景

日本へ観光旅行をする韓国人が増加している背景については次のことが考えられます。

### (1) 割安感

韓国内の賃金・物価上昇と直近2年間で30%近いウォン高・円安により、日本への旅行が韓国内の旅行に比べて割安感が出始めています。

### (2) 日韓間のビザ恒久免除

2006年3月1日以降、90日以内の短期訪問については日韓間でビザが相互免除されていますので、気軽に旅行に行くことができます。

### (3) 地理的要因

韓国から日本へ行くには飛行機、船舶等交通手段も多く、所要時間も1時間～3時間程度の距離であり、手軽に海外旅行を楽しみたい人にとっては日本が選択肢の一つになっています。

### (4) 九州新幹線

2011年3月の全線開業に伴い、北部九州から南部九州までのアクセスが飛躍的に改善しました。釜山からの旅行者にとってはバスの他、新幹線でも熊本、鹿児島に行くことが可能になりましたので、南部九州に行こうという釜山の旅行者も多くなりました。

## 3. 釜山発日本行きツアー

釜山発日本行きツアーは、近さと安さから船舶を利用した北部九州行きの商品に特色があります。韓国の人々の中には短い時間でより多くの場所を回りたいと考える人達もいます。最近では長崎ハウステンボスや湯布院、別府等の温泉に行くツアーが人気を集めています。

モデルケースとしては船舶で福岡到着後、別府、湯布院、阿蘇、熊本を回り、福岡から

船舶で帰国するツアーや、船舶で福岡到着後、有田、長崎、雲仙、熊本を回り福岡から船舶で帰国するツアーがあり、いずれも2泊3日で40万ウォン台（4万円台）のツアーが主流となっているようです。

#### 4. 日本側の取り組み

日本国内においては主要駅や観光案内所における韓国語での対応、道路標識・案内板の韓国語併記が増えてきています。韓国で観光説明会を開催し観光客誘致を図っている自治体や観光協会もあります。

いかにインバウンド観光収入を増やしていくかが今後の課題ですが、日本の魅力を官・民一体となって韓国に伝え、旅行者に地元の名産や特産物の消費を促すことが重要と言えます。特に、韓国では日本酒は税率が高く、飲食店で日本酒を注文する場合、パックの日本酒でも1本3万ウォン（約3,300円）、4合瓶であれば10万ウォン（約1.1万円）～30万ウォン（約3.3万円）もかかることから、なかなか飲む機会は少ないかもしれませんので、日本で日本酒を体験してもらうのも面白いかもしれません。

#### 5. 釜山新国際旅客ターミナル

釜山では旅行者の増加に伴い、現在の釜山国際旅客ターミナルでは収容能力が限界を迎えつつあったことから、2015年1月、釜山駅から近くの釜山港に総面積9万2,945㎡の大規模な新国際旅客ターミナルが竣工しました。現在オープンに向け準備を進めており、2015年7月のオープンを予定しています。

新国際旅客ターミナルは、年間利用客200万人程度を見込んで建設されましたので、現在の年間利用客120万人程度であれば余力はあり、今後の増加にも備えることができます。利用客の増加で期待されるのは免税品の売上増加や飲食店での利用増加ではないでしょうか。今後、いかに取り込んでいくのかが注目されます。



【釜山新国際旅客ターミナル】 ※出典 「釜山港湾公社」

---

## 6. まとめ

韓国では短い時間で多くの観光地を巡る格安ツアーが海外旅行の中心にあり、現状では単価が低い等対応に苦勞する面もあります。観光が一通り済むと温泉やショッピング、食事を目的に旅行する人も増えてきますので、リピーター向けの新しい海外旅行商品も求められています。

釜山新国際旅客ターミナル開業を目前に控え、今後ますます釜山と日本の観光分野は発展を遂げることが期待されます。日本側も官・民の枠を超えた協力体制で、魅力ある観光資源を開発し、観光客を受け入れる態勢を整え、魅力溢れる日本をもっと体験してもらい、リピーターを増やしていくことがインバウンド観光収入をさらに増加させる近道といえます。

換算レート：100 ウォン=10.88 円

以 上